

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	精神看護学特講演習Ⅲ Seminar/Practice in Psychiatric and Mental Health Nursing			担当 教員	安藤幸子（専任） 山岡由実（専任）	
開講年次	2年次	単位数	2単位	科目 分類	専門科目	授業形態	実習	
選択必修	選択	時間数	90時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>精神看護専門看護師や専任教員の指導のもと、臨床での実践を通して精神看護専門看護師に必要な高度な実践、コンサルテーション、調整、倫理調整、教育能力を養う。また実習を通して精神看護に関する研究課題を明確にし、課題研究や特別研究に繋げていく。</p>						
授業のキーワード		<p>精神看護専門看護師、実践、コンサルテーション、調整、倫理調整、教育、研究</p>						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
I. 実習		<p>複雑で対応困難な問題を抱えた患者や家族を受け持ち、精神看護専門看護師の指導を受けながら、専門的な知識や技術を用いてアセスメント、計画立案、直接介入を行い、実践活動の評価を行う中で、高度な実践能力を開発する。専任教員や専門看護師のスーパービジョンのもと、コンサルテーション、調整、倫理調整、教育などを行い、専門看護師として必要な能力を養う。</p>						
II. カンファレンス、事例検討		<p>専任教員、臨床指導者、精神看護専門看護師も含めた個人カンファレンス 専任教員、大学院生とのグループカンファレンスや事例検討会 臨床現場でのカンファレンスや事例検討会を通して、実習体験を深める。</p>						
テキスト	特になし							
参考文献								
成績評価の方法	<p>実習目標の達成度、実習への取り組み、実習レポート、事例報告、カンファレンスや事例検討会への参加、出席などを総合して判断する。</p>							
教員から学生へのメッセージ								